

いまばりロボット未来共創都市宣言

～瀬戸内クロステックゾーンの未来をロボットと拓く、挑戦のまち・今治～

人とロボットが共に学び、試し、価値を創り出すことで、
持続可能な地域産業と地域社会の実現を目指します

人とロボットが未来を共創するまちへ

背景・課題



人口減少・人材不足

- ・地域産業を支える人材不足
- ・少子高齢化による担い手不足



海事・タオル等 ものづくり産業の継続

- ・生産性向上と競争力強化



技術革新への対応

- ・AI、ロボット技術の進展
- ・DX、GXなど新技術への対応が必須



地域課題の多様化

- ・物流・観光・福祉・インフラ等の課題
- ・DX、GXなど新技術への対応が必須

宣言の考え方



共創

人の技とロボット技術を
組み合わせ、
新たな価値を創出



連携

企業・教育機関・
研究機関・行政が
連携・協力



現場起点

現場の課題に向かい、
実証・実装を通じて
解決につなげる



持続可能性

持続可能な地域産業・
地域社会の実現により、
次世代へつなぐ

目指す未来



産業競争力の強化

ロボット活用による生産性向上
と高付加価値化を実現



新産業の創出と人財の確保

ロボット関連産業の集積と新たな
ビジネス・雇用を創出



若者が集まり挑戦出来る地 域へ

学び・挑戦できる環境を整え、
若者が活躍できるまちへ



瀬戸内クロステックゾーン の形成

今治から瀬戸内全体へ波及し、
世界につながる地域へ

IMABARIロボット未来共創都市実現に向けた3ステップ

① 人財育成・集積

ロボットを当たり前使える人財を増やす



学ぶ環境づくり
(子ども～社会人)



AI・ロボット
人財の育成



リスキリングで
産業人財を強化

学ぶ機会の創出とリスキリングで人財を育成
高校・大学・企業が連携し、未来の人財を育成

② ロボット実装フィールドの拡大

ロボットと共に考え、動き、創るまちづくり



海事



タオル等
製造業



地域交通



物流・港湾



観光



医療・福祉

体験機会を創出し、現場ノウハウやデータによる
検証・改善を循環し、導入促進を図る

③ 新産業創出とサプライチェーンの整備

イノベーションを生み出す



スタートアップ・
研究機関連携



民間投資の
呼び込み



新たな雇用・
ビジネス創出

新たな連携と投資で産業基盤を強化

重点ターゲット



海事産業



タオル等製造業



物流・港湾



道路・インフラ・
地域交通



農林水産業



観光・サービス



防災・減災



医療・福祉

期待する効果



人財

産業の未来を担う人財の育成、
若者の定着



産業

海事・タオル等地域産業の
競争力強化



技術

ロボット実証フィールド形成、
技術導入の加速



連携

産学官連携の強化、
共創の促進



地域

新たな産業・雇用の創出、
地域活性化



ブランド

「ロボット共創都市 今治」
の確立

ロードマップ



ロボット活用人材の育成
学ぶ・触れる・使う



活用企業の拡大
現場で試す・導入する



地域産業の活性化
生産性向上・技術継承



新産業創出・企業参集
瀬戸内クロステックゾーン形成

